



平成30年2月2日
一般社団法人家畜改良事業団

肉用牛産肉能力平準化促進事業の改良委員会の概要について
～ 26前期の選抜牛、26後期からはゲノミック評価への移行が適当との答申 ～

家畜改良事業団は2月1日に肉用牛産肉能力平準化促進事業（種雄牛造成）に係る改良委員会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

今回の改良委員会では、26前期の検定済種雄牛の選抜についての諮問に加え、次回から選抜の指標としての遺伝的能力をゲノミック評価に移行することについて諮問し、次の答申をいただきました。

- 1 26前期の検定済種雄牛として選抜答申のあった種雄牛は6頭
P黒948 福之姫、P黒979 舞菊福、P黒982 愛之国、E黒028 新岡光81（岡山県有）
P黒983 美津茂重、P黒980 忠勝晴
- 2 選抜指標の1つとしての遺伝的能力評価
26後期（平成30年7月選抜予定）から、遺伝的能力評価をゲノミック評価に切り替えることが適当である。

なお、ゲノミック評価については、1月11日に、統計育種学やゲノム研究の専門家から成る肉用牛のゲノミック評価技術検証委員会を開催し、「日本中央競馬会の畜産振興事業で家畜改良事業団が開発した産肉形質のゲノミック評価は実用レベルにある」との評価を頂いています。

<本件に関するお問い合わせ先>
一般社団法人 家畜改良事業団
東京都江東区冬木11-17 イシビル17F
担当 改良部
安森 隆則(やすもり たかのり)
TEL: 03-5621-8915
FAX: 03-5621-8917
E-mail: yasumori@liaj.or.jp

候補種雄牛	血統			頭数	後代成績(平均)										BMS	枝重:BMS		ロース		皮下脂肪厚		歩留		日齢		選抜						
	父	母の父	母の祖父		終了時 月齢	BMS (No.)	枝肉 重量	ロース芯 面積	ハラの 厚さ	皮下 脂肪厚	歩留 基準値	1:2	順位	1:2.1		順位	BV	順位	BV	順位	BV	順位	BV	順位								
P黒954 梅花正	第1花園	平茂勝	北国708	去勢 14頭	7.4	504	58	8.3	2.7	73.7	1.90	14	0.96	16	2.02	16	19.91	9	-3.00	19	0.04	11	-0.22	8	-0.48	17	0.030	9				
				雌 13頭	6.2	424	52	7.3	2.8	73.2																						
				合計 27頭	6.8	464	55	7.8	2.8	73.5																						
P黒971 多美安	安福16509	平茂勝	美津福	去勢 13頭	6.5	485	62	8.2	2.5	74.6	0.20	18	0.57	17	1.20	18	4.34	11	3.46	11	0.15	7	-0.31	7	1.01	8	0.012	11				
				雌 12頭	5.9	448	58	8.0	2.7	74.3																						
				合計 25頭	6.2	467	60	8.1	2.6	74.5																						
P黒986 奥茂福	奥安福	平茂勝	神高福	去勢 11頭	6.6	490	60	8.1	2.6	74.1	0.54	17	0.26	18	1.42	17	3.44	12	0.23	15	0.14	8	0.01	12	0.05	12	0.013	10				
				雌 14頭	6.1	441	59	7.8	3.2	73.9																						
				合計 25頭	6.4	466	60	8.0	2.9	74.0																						
P黒956 藤芳直	千代藤土井	福芳土井	第2家鶴土井	去勢 9頭	6.0	498	64	7.6	2.4	74.5	-2.49	19	-1.51	19	0.05	19	-30.71	18	6.49	5	-0.58	18	-0.22	9	1.20	7	-0.037	18				
				雌 12頭	6.0	433	63	8.0	3.1	74.8																						
				合計 21頭	6.0	466	64	7.8	2.8	74.7																						
総平均				去勢 248頭	7.5	494	61	8.0	2.7	74.2																						
				雌 231頭	7.2	449	60	7.9	3.0	74.2																						
				合計 479頭	7.4	472	61	8.0	2.9	74.2																						

注)検定成績のBMSについては、調査牛全体の総平均として、その他の形質については、性別の単群平均として計算した。

平成29年度第2回肉用牛産肉能力平準化促進事業に係る改良委員会について

1 日時

平成30年2月1日(木)

午後2時半～5時半

2 場所

家畜改良事業団 会議室

3 議題

(1) 肉用牛産肉能力平準化促進事業の実施状況について

(2) 26年度前期候補種雄牛等の検定成績と選抜について

(2) 肉用牛ゲノミック評価技術の種雄牛選抜への導入について

4 委員(50音順、敬称略)

公益社団法人 栃木県畜産協会	専務理事	大利根 智
公益社団法人 全国和牛登録協会	情報解析課長	勝田 智博
一般社団法人 北海道酪農畜産協会	家畜登録改良部長	栗生 要
全国農業協同組合連合会岡山県本部	場長	柴田 憲志(欠)
十勝協業協同組合連合会	畜産部長	西部 博寿
東京農業大学 農学部	教授	古川 力
熊本県畜産農業協同組合連合会	業務部次長	本田 英孝
株式会社 松永牧場	取締役	松永 直行
独立行政法人 家畜改良センター	改良部長	松本 隆志

(代理 渡邊貴之)

肉用牛ゲノミック評価検討事業に係る
肉用牛のゲノミック評価技術検証委員会の概要

1 日時

平成30年1月11日(木)
午後2時半～5時半

2 場所

家畜改良事業団 会議室

3 議題

- 1) 肉用牛ゲノミック評価検討事業の実施概要について
- 2) 産肉能力形質のゲノミック評価技術の検証について

4 委員(50音順、敬称略)

新潟大学研究推進機構	朱鷺・自然再生学研究センター	特任教授	祝前	博明
独立行政法人 家畜改良センター	情報分析課	調査役	井上	慶一
東北大学大学院農学研究科	動物育種学分野	准教授	上本	吉伸
東京大学大学院農学生命科学研究科		さきがけ研究員		
				小野木章雄
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構		研究員	西尾	元秀
東京農業大学	農学部畜産学科	教授	古川	力

5 委員会概要

家畜改良事業団が日本中央競馬会の畜産振興事業で開発した肉用牛の産肉形質に係るゲノミック評価技術について、改良現場・生産現場での有効性(実用レベルにあるかどうか)の検証を行っていただいた。

委員会での検証の結果、次のような評価が行われました。

- ① 計画交配で生産された雄子牛から候補種雄牛を選定する一次選抜に使えるレベルにある。
- ② 検定済種雄牛を選抜する際の指標としても十分に使えるレベルにある。
- ③ 計画交配対象雌牛などの遺伝的能力の把握にも有効に使える。特に、若い雌牛の能力把握に有効である。